

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-52C	14-077	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名（原題／訳）</b>		
Systematic review with meta-analysis: alcohol consumption and the risk of colorectal adenoma. 結腸直腸腺腫とアルコール摂取との関連についてのメタ・アナリシス		
<b>執筆者</b>		
Zhu JZ, Wang YM, Zhou QY, Zhu KF, Yu CH, Li YM.		
<b>掲載誌</b>		
Aliment Pharmacol Ther. 2014 Aug;40(4):325-37. doi: 10.1111/apt.12841. Review.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
大腸腺腫（CRA）、アルコール消費、リスク、メタ・アナリシス		24943329
<b>要 旨</b>		
<b>背景</b>		
<p>アルコール消費量と大腸がんの前駆状態である大腸腺腫（CRA）との関連については結果が一貫していない。本研究では系統的レビューの結果のメタアナリシスを行い、CRAと飲酒量との量反応関係について検討することを目的とした。</p>		
<b>方法</b>		
<p>2014年1月までに公開された論文で、飲酒と大腸腺腫に関連する文献をPubMed上で検索した。飲酒量とCRAのリスクとの関連は固定またはランダム効果モデルを用いて、相対危険（RR）および95%信頼区間（CI）を推定した。研究の異質性は、<math>\chi^2</math>統計で評価され、<math>I^2</math>によって定量化された。</p>		
<b>結果</b>		
<p>メタアナリシスには23の症例対照研究と2つのコホート研究が使用された。飲酒者は、非飲酒者または機会飲酒者と比較してCRAのリスクが17%増加していた。同様に非飲酒者または機会飲酒者と比較すると10、25、50、100g/日のアルコール飲酒者のCRAの相対危険（RR）が1.02（95%CI 0.89–1.16）、1.06（95%CI 0.92–1.20）、1.16（95%CI 1.02–1.33）、1.61（95%CI 1.42–1.84）と量反応関係がみられた。男女、大腸腺腫の部位によるサブグループ解析でも一貫した結果であったが、ヨーロッパにおける研究結果は米国とアジアのそれと比較すると強い関連がみられた。</p>		
<b>結論</b>		
<p>このメタアナリシスの結果からは、アルコール摂取が大腸腺腫のリスクの増加に有意に関連していることが示唆された。</p>		